

2006 年度

科目名  国語学演習	対象学科・学年 研究科国語(前)1回生 研究科国語(後)1回生	担当者 宇都宮啓吾																																							
授業テーマ 日本語史料の基礎的研究																																									
授業の概要と目標 日本語の歴史とその文化的背景の問題について考察します。そのため、日本語史研究の対象となる文献、歴史的背景や文化・宗教的な背景に関しても検討します。これらの問題について、演習形式での発表を取り入れます。																																									
評価方法 授業の出席日数と課題提出、課題への取り組み、レポートで総合的に評価します。																																									
テキスト 特に指定しません。適宜、プリントを配布します。	著者	出版社																																							
参考書	著者	出版社																																							
授業スケジュール・内容 前期については、教員の側で日本語史を考える上での視点をいくつか紹介し、それに沿う形で講義と発表を行ないます。その後で、みなさんの演習発表へと移ります。発表については、 1、問題提起 2、問題解決の方法 3、問題解決の手続き 4、結論 という形で発表をして下さい。																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>時間</th><th>テーマ</th><th>補足</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">導入</td><td>1</td><td>オリエンテーション</td><td>前期の講義計画・評価方法等の説明</td></tr> <tr> <td>2</td><td>日本語史研究の意義</td><td>日本語史研究から何がわかるか。</td></tr> <tr> <td rowspan="4">講義①</td><td>3</td><td rowspan="4">日本語の歴史と仏教</td><td rowspan="4">日本語の歴史に於ける仏教の影響について</td></tr> <tr> <td>4</td></tr> <tr> <td>5</td></tr> <tr> <td>6</td></tr> <tr> <td rowspan="4">講義②</td><td>7</td><td rowspan="4">日本語史料①</td><td rowspan="4">訓点資料を中心とした言語研究の諸問題 : 訓点資料とは : 訓点資料の価値 : 角筆文献</td></tr> <tr> <td>8</td></tr> <tr> <td>9</td></tr> <tr> <td>10</td></tr> <tr> <td rowspan="3">講義③</td><td>11</td><td rowspan="3">日本語史料②</td><td rowspan="3">国語辞書・注釈書を巡る諸問題 : 国語辞書の歴史 : 注釈書・伝授資料を巡る問題</td></tr> <tr> <td>12</td></tr> <tr> <td>13</td></tr> <tr> <td>演習 討論</td><td>14 ~ 28</td><td>各人個別の研究発表と討論</td><td>各人にテーマを設定して、発表と討論を行なう。</td></tr> <tr> <td>総括</td><td>29・30</td><td>講義の総括</td><td>講義の総括</td></tr> </tbody> </table>				時間	テーマ	補足	導入	1	オリエンテーション	前期の講義計画・評価方法等の説明	2	日本語史研究の意義	日本語史研究から何がわかるか。	講義①	3	日本語の歴史と仏教	日本語の歴史に於ける仏教の影響について	4	5	6	講義②	7	日本語史料①	訓点資料を中心とした言語研究の諸問題 : 訓点資料とは : 訓点資料の価値 : 角筆文献	8	9	10	講義③	11	日本語史料②	国語辞書・注釈書を巡る諸問題 : 国語辞書の歴史 : 注釈書・伝授資料を巡る問題	12	13	演習 討論	14 ~ 28	各人個別の研究発表と討論	各人にテーマを設定して、発表と討論を行なう。	総括	29・30	講義の総括	講義の総括
	時間	テーマ	補足																																						
導入	1	オリエンテーション	前期の講義計画・評価方法等の説明																																						
	2	日本語史研究の意義	日本語史研究から何がわかるか。																																						
講義①	3	日本語の歴史と仏教	日本語の歴史に於ける仏教の影響について																																						
	4																																								
	5																																								
	6																																								
講義②	7	日本語史料①	訓点資料を中心とした言語研究の諸問題 : 訓点資料とは : 訓点資料の価値 : 角筆文献																																						
	8																																								
	9																																								
	10																																								
講義③	11	日本語史料②	国語辞書・注釈書を巡る諸問題 : 国語辞書の歴史 : 注釈書・伝授資料を巡る問題																																						
	12																																								
	13																																								
演習 討論	14 ~ 28	各人個別の研究発表と討論	各人にテーマを設定して、発表と討論を行なう。																																						
総括	29・30	講義の総括	講義の総括																																						